

石巻地方を襲った過去の自然災害

1. 過去の津波

東日本大震災以前に石巻を襲った過去の自然災害について津波を中心として振り返ってみる。

石巻は、有史以来多くの自然災害に遭っているが、文献資料が残る奈良時代以降から知ることができるものの、記録の少ない江戸時代前期以前は不明な点も多い。

『理科年表』等を参考に石巻地域が遭遇した地震・津波と日本列島を襲った津波を年表にまとめてみると、津波は、近現代の小津波や火山の噴火による津波も含め100回以上数えることができる。古代・中世においては、記録されていないものもあり、おそらくもっと多くの津波災害があったものと考えられる。

次に石巻地域が襲われた主な津波を掲げる（明治以降の小津波は除く）

1. 貞観11年5月26日(869年7月9日)貞観大地震・大津波 多賀城で大被害。石巻地域においても大きな被害があった可能性が高い。
2. 享徳3年11月23日(1454年12月13日)享徳地震 陸奥国(青森県・岩手県・宮城県・福島県)のどこかまたは全部において大津波。引き波で多くの人がさらわれたという。石巻地域においても大きな被害があった可能性が高い。
3. 慶長16年10月28日(1611年12月2日)慶長大地震・大津波 北海道から相馬まで大きな津波被害があった。石巻においても大きな被害があった可能性が高い。
4. 延宝5年3月12日(1677年4月13日)延宝地震(八戸沖と推定) 仙台藩気仙郡で被害の記録あり。石巻地域においても津波は到達していたと推定されるが、大きな被害はなかったものと考えられる。
5. 貞享4年9月17日?(1687年10月20日)ペルー地震(1687年ペルー地震)による津波 塩釜で大きな潮の満ち引きがあったことから、石巻地域においても津波は到達していたと推定されるが、大きな被害はなかったものと考えられる。
6. 寛政5年1月7日(1793年2月17日)寛政地震 宮城沖に発生した地震と考えられており、岩手県中部～牡鹿半島沿岸に3～5mの津波があった。現・雄勝町雄勝浜では、1856年の津波が床上3尺(90cm)の浸水であったが、それより1尺低いという記録があり、床上60cm程度の津波がきたと考えられる。ただし、大きな被害の記録は残っておらず、少なくとも大規模な人的被害はなかったものと考えられる。
7. 天保8年10月11日(1837年11月7日)チリ・バルディビア地震 太平洋全般に波及。翌日、仙台藩領の沿岸各地に津波が押し寄せた。牡鹿郡石浜(宮城県女川町)には夜九つ時(0時頃)、『万ふしぎ事控覚帳』宮城県史編纂委員会)、気仙郡今泉宿(岩手県陸前高田市)、『角屋敷久助覚帳』渡辺鎌男編)と宮城郡塩竈町(宮城県塩竈市)では夜九つ半頃であった(『天保日記抜書』)ただし、大きな被害の記録は残っておらず、少なくとも大規模な人的被害はなかったものと考えられる。
8. 安政3年7月23日(1856年8月23日)安政八戸沖地震 直前に前震とイワシとマグロの大漁(『時風録』)。雄勝町雄勝浜では、1793年の津波よりも1尺(約30cm)高い津波が押し寄せたとの記録がある。大きな被害の記録は残っておらず、少なくとも大規模な人的被害はなかったものと考えられる。
9. 明治29年(1896年6月15日)明治三陸地震 岩手県綾里(現・大船渡市)で津波の遡上高38.2m、死者不明者22,000人。津波地震とされる。ハワイおよびアメリカ西海岸でも遠地津波が観測された。石巻地域では、北上地区の十三浜・雄勝地区で大きな人的被害があった。牡鹿地区谷川浜でも死者1人の記録がある。
10. 昭和8年(1933年3月3日)昭和三陸地震 死者・不明者3,000人。雄勝地区・牡鹿地区の谷川・鮫浦で大きな人的被害があった。
11. 昭和35年(1960年5月22日)(日本到達は日本時間24日)チリ地震津波 浸水被害は大きかったが、死者行方不明者は3人であった。

No.	西暦年	月	日	和 暦	被災地域	概 要	備 考
1	684	11	29	天武13.10.14	土佐その他南海・東海・西海地方	大地震・大津波	南海トラフ巨大地震か
2	850				出羽	大地震・津波	
3	869	7	9	貞観11.5.26	三陸沿岸	大地震・大津波	貞観の三陸沖地震
4	887	8	26	仁和3.7.30	五畿・七道	大地震・大津波	南海トラフ巨大地震か
5	1096	12	17	永長1.11.24	畿内・東海道	大地震・大津波	東海沖巨大地震か
6	1099	2	22	承德3.1.24	南海道・畿内	大地震・大津波	
7	1241	5	22	仁治2.4.3	鎌倉	地震・津波	
8	1360	11	22	延文5(正平15)10.5	紀伊・摂津	大地震・大津波	東南海地震か？記録少ない
9	1361	8	3	康安1(正平16)6.24	畿内・土佐・阿波	大地震・大津波	南海トラフ巨大地震か
10	1408	1	21	応永14.12.14	紀伊・伊勢	地震・津波	
11	1433	11	7	永享5.9.16	相模	地震・津波	
12	1454	12	13	享徳3.11.23	奥州	地震・大津波	奥州で大津波との記録あるが、詳細不明
13	1498	9	20	明応7.7.25	東海道	地震・大津波	南海トラフ巨大地震か
14	1520	4	4	永正17.3.7	紀伊・京都	地震・津波	
15	1586	1	18	天正13.11.29	畿内・東海・東山・北陸諸道	大地震・津波？	若狭湾・伊勢湾津波か？記録錯綜し詳細不明
16	1605	2	3	慶長9.12.16	東海・南海・西海諸道	大地震・大津波	
17	1611	12	2	慶長16.10.28	三陸沿岸・北海道東岸	大地震・大津波	慶長の大地震・大津波
18	1616	9	9	元和2.7.28	仙台領	地震 津波？	
19	1633	3	1	寛永10.1.21	相模・駿河・伊豆	地震・津波	
20	1640	7	31	寛永17.6.13	北海道噴火湾	噴火・津波	
21	1646	6	9	正保3.4.26	仙台領・北関東等	地震	
22	1662	10	31	寛文2.9.20	日向・大隅	地震・津波	
23	1664			寛文4	琉球	地震・噴火・津波	延宝の三陸沖地震
24	1677	4	13	延宝5.3.12	陸中・陸奥	地震・津波	
25	1677	11	4	延宝5.10.9	いわき～下総・上総	地震・津波	元禄地震 相模トラフ沿い巨大地震か
26	1703	12	31	元禄16.11.23	江戸・関東諸国	大地震・大津波	宝永地震 遠州灘・紀伊半島沖で二つの巨大地震が同時発生か
27	1707	10	28	宝永4.10.4	五畿・七道	大地震・大津波	宝永地震の余震か
28	1708	2	13	宝永5.1.22	紀伊・伊勢・京都	地震・津波	
29	1717	5	13	享保2.4.3	仙台領・南部領	地震	チリのパルパライソ沖地震による遠隔地津波
30	1730	7	9	享保15.5.25	仙台領	津波	
31	1730	10	7	享保16.9.7	仙台領・桑折等	地震	
32	1736	4	30	享保21.3.20	仙台領	地震	
33	1741	8	29	寛保1.7.19	渡島・津軽・佐渡	噴火・津波	
34	1762	10	31	宝暦12.9.15	佐渡	地震・津波	
35	1763	1	29	宝暦12.12.16	八戸	地震・津波	
36	1768	7	22	明和5.6.9	琉球	地震・津波	
37	1772	6	3	明和9.5.3	仙台領・南部領	地震	
38	1782	8	23	天明2.7.15	相模・武蔵・甲斐	地震・津波	
39	1792	5	21	寛政4.4.1	島原・肥後	噴火・地震・津波	島原大変肥後迷惑
40	1792	6	13	寛政4.4.24	北海道西岸	地震・津波	
41	1793	2	8	寛政4.12.28	西津軽	地震・小津波	
42	1793	2	17	寛政5.1.7	仙台領・南部領ほか	地震・大津波	
43	1804	7	10	文化1.6.4	出羽	地震・津波	象潟地震
44	1833	12	7	天保4.10.26	出羽・越後・佐渡・能登	地震・津波	
45	1843	4	25	天保14.3.26	北海道東岸 陸奥	地震・津波	
46	1854	12	23	安政1.11.4	東海・東山・南海諸道	大地震・大津波	安政東海地震
47	1854	12	24	安政1.11.5	畿内・東海・東山・北陸・山陰・山陽道	大地震・大津波	安政南海地震
48	1855	9	13	安政2.8.3	仙台領	地震	
49	1855	11	7	安政2.9.28	遠江	地震・津波	安政東海地震余震
50	1856	8	23	安政3.7.23	北海道・南部領・津軽領	地震・津波	安政の八戸沖地震
51	1861	10	21	文久1.9.18	仙台領ほか	地震	
52	1872	3	14	明治5.2.6	石見・出雲	地震・津波	浜田地震
53	1877	5	10	明治10	太平洋沿岸	津波	チリのイケキ沖地震による遠隔地津波
54	1893	6	4	明治26	色丹島・択捉島	地震・津波	
55	1894	3	22	明治27	根室等	地震・津波	

No.	西暦年	月	日	和 暦	被災地域	概 要	備 考
56	1896	6	15	明治29	三陸	地震・大津波	明治の三陸沖地震
57	1897	2	20	明治30	宮城県	地震	
58	1897	8	5	明治30	宮城県	地震・津波	
59	1898	4	23	明治31	岩手・宮城・福島・青森	地震・津波	
60	1900	5	12	明治33	宮城県	地震	
61	1901	8	9	明治34	青森ほか	地震・津波	
62	1914	1	12	大正3	鹿児島県	噴火・地震・津波	桜島地震
63	1918	9	8	大正7	ウルップ島 太平洋沿岸	地震・津波	
64	1923	9	1	大正12	神奈川・東京	大地震・大津波	関東大震災
65	1933	3	3	昭和8	三陸沿岸	地震・大津波	日本海溝沿いの津波地震による大津波
66	1936	11	3	昭和11	宮城県	地震・小津波	
67	1938	6	10	昭和13	東シナ海沿岸	津波	
68	1938	11	5	昭和13	福島県・宮城県	地震・津波	
69	1939	3	20	昭和14	大分県・宮崎県	地震・小津波	
70	1939	5	1	昭和14	秋田県	地震・小津波	男鹿地震
71	1941	11	19	昭和16	大分県・宮崎県・熊本県	地震・津波	
72	1944	12	7	昭和19	静岡・愛知・三重など	大地震・大津波	東南海地震
73	1945	1	13	昭和20	愛知県	大地震・津波	三河地震
74	1945	2	10	昭和20	青森県	地震・小津波	
75	1946	12	21	昭和21	中部以西	大地震・大津波	南海地震
76	1947	11	4	昭和22	北海道西岸	地震・津波	
77	1952	3	4	昭和27	北海道南部・東北部	地震・津波	十勝沖地震
78	1952	11	5	昭和27	太平洋沿岸	津波	カムチャツカ半島沖の地震による津波
79	1953	11	26	昭和28	南関東	地震・津波	房総沖地震
80	1956	9	30	昭和31	宮城県	地震	
81	1958	11	7	昭和33	太平洋沿岸	地震・津波	択捉島付近の地震
82	1960	5	24	昭和35	太平洋沿岸	津波	チリ地震津波
83	1961	2	27	昭和36	宮崎県・鹿児島県	地震・小津波	
84	1962	4	30	昭和37	宮城県	地震	宮城県北部地震
85	1963	10	13	昭和38	三陸沿岸	津波	択捉島付近の地震
86	1964	6	16	昭和39	新潟県・山形県・秋田県	地震・津波	新潟地震
87	1968	4	1	昭和43	高知県・愛媛県	地震・津波	1968年日向灘地震
88	1968	5	16	昭和43	青森・北海道南部・岩手・宮城	地震・津波	十勝沖地震
89	1973	6	17	昭和48	根室・釧路地方	地震・小津波	根室半島沖地震
90	1974	5	9	昭和49	伊豆半島	地震・小津波	伊豆半島沖地震
91	1978	6	12	昭和53	宮城県・岩手県・福島県	地震	宮城県沖地震
92	1982	3	21	昭和57	浦河・静内	地震・小津波	浦河沖地震
93	1983	5	26	昭和58	秋田・青森・北海道	地震・津波	日本海中部地震
94	1993	7	12	平成5	北海道	地震・大津波	北海道南西沖地震
95	1994	10	4	平成6	北海道・択捉島	地震・津波	北海道東方沖地震
96	1994	12	28	平成6	青森	地震・小津波	三陸はるか沖地震
97	2003	5	26	平成15	宮城県	地震	三陸南地震とも
98	2003	7	26	平成15	宮城県	地震	宮城県北部連続地震
99	2003	9	26	平成15	北海道・本州太平洋岸	地震・津波	十勝沖地震
100	2005	8	16	平成17	宮城県	地震・小津波	
101	2006	11	15	平成18	太平洋沿岸	小津波	千島列島沖の地震による小津波
102	2007	1	13	平成19	太平洋沿岸	小津波	千島列島沖の地震による小津波
103	2007	3	25	平成19	石川県	地震・小津波	能登半島沖地震
104	2008	6	14	平成20	宮城・岩手	地震	宮城・岩手内陸地震
105	2008	7	24	平成20	宮城・岩手	地震	岩手沿岸北部
106	2009	8	11	平成21	静岡	地震・小津波	
107	2010	2	28	平成22	太平洋沿岸	津波	チリ地震による遠隔地津波
108	2011	3	9	平成23	宮城県	地震・小津波	被害小

※主に理科年表（平成28年度版）をもとに日本における津波および石巻（仙台藩・宮城県）地方における大きな被害を出した地震を掲載した。
 ※和暦のうち、南北朝期の表記は、当時の史料のほとんどに記載されている北朝年号を使用し、（ ）で南朝年号を付記した。